

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	藤沢市西北部地域における公園づくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 平成33年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	藤沢市												
計画の目標	遠藤笹窪谷(谷戸)は、緩やかで開放感ある一筋の谷戸地形が市内最大規模で広がる藤沢市西北部地域を代表する谷戸です。 本市に残されたこの貴重な自然環境を保全しつつ、その谷戸底の一部を利活用し、地域活性化に資する施設として誰もが安全で安心して利用することができる公園づくりを目標とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	460	A	460	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	市民1人あたりの公園面積を、4.34㎡/人から4.40㎡/人にする。 市内の1人あたり公園面積 住民1人あたり公園面積 = 全公園面積/全市人口	H30当初 4㎡/人		H33末 4㎡/人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
2018.12.1現在 公園面積：1,873,208.57㎡ 人口：431,752人														

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	藤沢市	直接	藤沢市	-	-	都市公園事業((仮称)遠藤 笹窪谷公園)	園路及び広場等整備 A=2.3h a	藤沢市					460	2.8	-	
												小計					460		
												合計					460		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和6年1月25日に藤沢市都市再生整備計画等事後評価委員会（学識経験者を含む第三者）から事後評価の意見を聴取した。 【委員構成】 税理士 大場智子 氏 一般社団法人インクルージョンネットかながわ代表理事 川崎あや 氏 明星大学名誉教授 木下瑞夫 氏 健康の森管理運営協議会会長 櫻井正男 氏	令和6年1月25日
	公表の方法 ホームページにより、事後評価書及び説明版資料を公表。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画目標のとおり良好な公園が整備されたことにより市民1人あたりの公園面積が4.40㎡/人となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	来園者へのモニタリング調査から、計画の目標である「自然環境の保全」「地域活性化に資する施設の整備」「安全で安心して利用できる公園」については、概ね達成していると考察できる。 公園の管理については、令和5年度から指定管理者による管理を開始し、菖蒲田等の管理については地元有志で組織された市民団体や地元の中学校生徒が参加することで協働による管理体制が構築された。 生物多様性サテライトセンターにおいて、開園以来、定期的に自然観察会や研修会を実施し、生物多様性に関する市民の理解が深まった。
特記事項（今後の方針等）	
<p>本公園は、平成30年に策定した「藤沢市生物多様性地域戦略」の重点プログラムで示す、生物多様性に関する「普及啓発」と「協働」の推進を目的として開設する「生物多様性センター（長久保公園）」と連携を図るために位置付けた「生物多様性サテライトセンター」の一つとして開設した公園である。</p> <p>その目的を推進するために令和5年度から指定管理事業により管理を開始し、豊かな自然環境と里地里山環境を有する本公園を含む遠藤笹窪緑地全体を活用した自然観察会の開催や生物多様性に関する情報の発信、また、企業や市民団体などとの交流支援等を行っている。</p> <p>さらに、日常の公園管理において一部の草を刈り残すなど、生物の生息しやすさに配慮した植栽管理を行うとともに、地域ボランティアによる公園内にある菖蒲田等の五つの田の管理を行っている。</p> <p>なお、今後も引き続き協働の推進を図るとともに公園利用者におけるアンケート等を実施し、市民ニーズを把握したうえで生物多様性に関する一層の普及を図っていくもの。</p> <p>その他として、公園内に11,000tの雨水を貯められる調整池が整備されたことにより、下流域で頻発している浸水被害の軽減が図られた。</p>	

